

R7外部評価ヒアリング (R6事後評価)

ヒアリング調書 (1班)

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	人事・給与事務事業		
担当課	総務課	担当係	総務係
日時	令和7年7月9日 10:30~11:00		
質疑応答 (発言者)			
委員	年度初め(4/1現在)では定員152名は満たしているのか。		
説明員	令和7年度は不補充があり、OBが会計年度任用職員として勤務してもらっている。		
委員	年度途中で身体の具合が悪くなったり、市の採用が先に決まると町を辞退するケースもあるかと思う。96.1%の人員で足りているか？		
説明員	今年度はPAT、企画係など、年によって事業のボリュームが変わるため、人事がうまくいかない。不足分は会計年度任用職員を充てた。		
委員	土木技師の採用はあったのか。		
説明員	合格点に達せず採用なし。		
委員	決算内訳の委託料の支払い先は。		
説明員	職員採用試験業務委託料は山形県市町村政連絡協議会への支払い。職員採用情報発信業務委託料は鶴岡市の企業への支払い。若者向けの就職紹介サイトに若手職員のインタビューを掲載している。それを見た方と面談して採用試験の受験を勧めたケースがある。		
委員	令和6年度担当課年度評価について一般行政部門で▲9.9%、普通会計全体で▲5.3%職員が不足しているとあるが、どういう意味か。		
説明員	調べて報告する。		
委員	独自試験とは何か。		
説明員	7月に募集するのは三町合同試験で一次試験として筆記試験を行うが、それ以外に12月~1月に合同試験で定員に満たなかった場合に町独自で行う試験のことをいう。		
委員	県や市に比べて給与の格差があるのではないか。		
委員	学歴に伴う給与の差も以前はなかった。今は学歴によって高卒、大卒の違いがある。		
委員	土木技師の仕事内容は。		
説明員	土木技師は町に3名在籍。うち一名が専門員として配置している。道路等土木関係の設計が仕事。		
委員	町の組織図に会計年度任用職員の名前も掲載するようになった理由は。		
説明員	町民の声があった。役場に電話をかける際に誰かわかった方がいいとの声。		
外部評価の 意見	計画に基づいて着実に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	町職員研修事業		
担当課	総務課	担当係	総務係
日時	令和7年7月9日11:00～11:21		
質疑応答 (発言者)	委員 職員自己研修等支援助成金は職員の希望がある場合に特に制限なく利用できるのか。 説明員 利用できる。令和6年度は利用がなかったが、令和5年度に1件利用あり。研修費の1/2の助成。2万円が上限なので3人分の予算をとっている。 委員 評価シートの成果指標の受講数と別紙の職員研修受講計画での成果人数は同数か。 説明員 成果指標の受講数441名は県の研修所主催のもの、町独自の研修（総務課主催、総務課以外が主催）の受講数の合計である。 委員 人員が足りなければなかなか研修にも行けない。倫理的な研修会にも力を入れてほしい。 説明員 研修所が山形市で参加する場合には朝早く出発して帰りも遅くなる。オンラインはありがたい。だが、研修の途中で職員が席を外すことがあるため、県研修所の方針としては対面研修に戻す方向であるとのこと。 委員 選挙等で短期間で採用になる会計年度任用職員についての研修はしているか。 説明員 仕事の内容や注意点については理解できるまで説明がある。 委員 接遇面の研修はどうか。会計年度任用職員も交えて接遇の研修を実施してほしい。 説明員 検討していく。 委員 研修を受けてどう変わったかなど、変化が見えるような評価になれば一番いい。 説明員 税の研修で千葉市で10日間研修を受けたことがある。講師にその後実務のことを相談したり、全国に仲間ができた。今後も職員が身になる研修に出れるよう計画していきたい。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	山岳救助訓練事業		
担当課	総務課	担当係	危機管理係
日時	令和7年7月9日 9:00～9:23		
質疑応答 (発言者)			
委員	令和5年決算額が72千円に対して令和6年予算が60千円と減額になった理由は。		
説明員	財政の関係で減額になった。前年度に必要な物品を確認して予算の範囲で購入している。減額になっても今のところ問題は生じていない。決算書をもらっている。		
委員	装備品は共用のものも個人のものも購入していいのか。以前の資料で購入の内訳に「靴」とあった。靴はサイズもあるので個人の物になってしまうのではないか。		
説明員	現在の装備品購入の基準は共有の物のみ。防災センター前の倉庫に保管しており、個人で使うものは入っていない。長くやっている事業のため、以前に個人のもを購入したことがあったのかも知れない。経緯を確認する。		
委員	購入した装備品の内訳を提出してもらいたい。		
委員	令和6年予算60千円は少ないのではないか。		
委員	保険はどうしているのか。		
説明員	保険は個人でかけてもらっている。だが、県からの説明で山岳救助のための保険は今後なくなると説明があった。そのためこの事業の根本的な方向性を見直す時期にきていると考えている。		
委員	山岳遭難救助隊員は何名いるのか。		
説明員	ある程度人数はいるが、高齢化もあり実際に動ける人数は数名である。新規メンバーも増えない。山岳遭難救助隊以外の団体、例えば鳥海山ガイド協会等にも声をかけていく必要がある。		
委員	消防団は出れるのか。		
説明員	どこからが里山でどこからが山か、という境界の問題もあるが、消防団は山には出られない。		
委員	整備計画品がわかっていて目標が100%となっている。見直した方がいい。山岳遭難救助はデリケートなところで町が入っていけないところもあると思う。各団体の全体的な把握をし、体制づくりに力をいれてほしい。		
委員	成果指標の(276/772)の単位は？		
委員	年度評価と成果指標が合っていない。次年度以降シートを作る際見直してほしい。		
外部評価の 意見	装備品の適切な把握に努めていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	消防団活性化対策事業		
担当課	総務課	担当係	危機管理係
日時	令和7年7月9日 9:23~9:40		
質疑応答 (発言者)	委員 団員定数が620名から560名へ減っているため、成果指標の令和5年から6年に団員数が減っているにも関わらず母数の関係で割合が増えている。注釈が必要ではないか。 委員 団員は集落間で活動に温度差があると思うがその点への対応は。 説明員 委員に伝える。温度差があるのは承知しているが仕事を抱えながら活動しているため難しい面もある。消防の報告物は紙ベースだったが、今後は消防団システムを利用して連絡やスマホ等で報告できるようにすることも検討している。 委員 団員が足りているところ足りていないところあると思う。なるべく欠員がでないようにしてほしい。機能別消防団員とは何か。 説明員 現在は女性消防団、ラッパ隊等広報的なところがあるが、今後は実務的なことも含めて機能別消防団を充実させたい。消防団OBにご協力いただくことを考えている。災害等の出動際に消防団として活動してもらうが、大演習などのイベントは参加しなくていい。保険や報酬もある。 委員 怪我が怖いので保険は大切である。 説明員 イベントが多く団員の負担になっている。いざという救助のときに動ける団員を確保していきたい。 委員 区長を通してOB活用についてお願いしていただきたい。		
外部評価の 意見	機能別消防団の在り方を実態に沿った内容に検討していただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	自主防災会活動推進事業		
担当課	総務課	担当係	危機管理係
日時	令和7年7月9日 9:41~9:55		
質疑応答 (発言者)	委員 自主防災会をとおして町に要望を挙げるしくみにしてほしい。避難場所が水に浸かったところもある。 委員 駅前一区の避難場所は生涯学習センターか防災センター。「避難できない人は家から出るな」「大雨や地震の際には状況がおさまってから外へ出るように」と最近の指導は変わってきている。 委員 避難場所についても集落の意見を聞いてほしい。区長が変わったときにも確認が必要。 委員 自主防災会数109というのは集落数のことか。 説明員 お見込みのとおり。 委員 自主防災会で消防のホースを購入した。助成金があってよかった。 委員 課題に「自主防災組織の統合」とあるが地区内での統合のことか。 説明員 地区間ではない。昨年の大雨災害のときに急に避難指示が出た。防災無線は雨で聞こえず、各自主防災会に電話をして区長に対応してもらった経緯がある。いざというときに区長さんを頼ることになる。集落として動いていないといざという時に困る。組織力の強化は必要。そのため活動できる範囲の統合のことである。 委員 令和4年度の担当課評価では4地区の自主防災会訓練に助言を行ったとあるが、令和5~6年度は実施しているのか。ぜひ継続してほしい。 説明員 役場でやってくださいというのではなく、各地区で自主的に実施している。		
外部評価の 意見	着実に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	交通安全対策推進事業		
担当課	総務課	担当係	危機管理係
日時	令和7年7月9日 9:55~10:12		
質疑応答 (発言者)			
委員	カーブミラーは交通安全推進協議会で設置をお願いするものなのか。		
説明員	道路管理者が設置することになっているが、町道でも県で設置したものもある。		
委員	現状がわからないと設置もできない。以前は交通安全推進協議会でカーブミラーを磨いていた。藤崎では竹が伸びて見通しが悪いところがある。		
委員	見通しが良い道路でも夜間安全のためにカーブミラーが設置されているところもある。		
委員	令和6年度決算内訳に「免許返納者タクシー利用助成券」とあるがどういうものか。		
説明員	毎月タクシー会社や商工会等から請求に基づき支払いをしている。		
委員	永久に使えるものなのか。一人当たり補助金額はどのくらいか。		
説明員	当事業では免許返納した際に一度限りだが、福祉タクシー事業（健康福祉課）もある。一人当たりの補助額については確認しておく。		
委員	カーブミラーの設置基準を予算としては年1~2か所しか設置できないことになるが、修繕も含むか。		
説明員	カーブミラーはJAより毎年寄贈ある。ただ、ミラーの足は付け替えられない時には設置基準に満たない場合は撤去となるため修繕はされない。		
委員	ミラーの設置基準は交通量や危険度は加味されるのか。		
説明員	危険度や交通量は加味される。目視での安全確認が原則なので、カーブミラーがあることで目視が疎かになる危険性もある。		
委員	設置希望が複数個所あった場合の優先順位の決め方はどうしているのか。		
説明員	複数希望があった際は危険度が優先される。		
委員	令和6年度の交通安全推進協議会補助金は9万円と減っている理由は。		
説明員	前年度の実績をみて予算要求額を減らしている。		
委員	有効性、効率性、活動量の評価が「2」になっている理由は。		
説明員	ハード事業、ソフト事業が入り混じっている事業。改善の余地や伸びしろがあるという意味で「2」とした。		
外部評価の 意見	カーブミラーの適切な管理に努めていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	ホームページ運用事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和7年7月9日(水) 13:00~13:25		
質疑応答 (発言者)			
委員	ホームページリニューアルに係る予算支出はR6だけで、その後は保守費用の支出のみか。		
説明員	お見込みのとおり。		
委員	ホームページの更新は誰が行うのか。		
説明員	説明員、課長が承認手続きを行っている。		
委員	更新に700万円ほど支出しているが、前年度と比較して良くなった点は何か。		
説明員	今までは、役場内にサーバーを設置してホームページを管理していたが、更新によりインターネットサービス上に設置となった。そのため、災害が起きたとしても影響なくホームページを更新でき、設定次第では職員が自宅からも更新でき運用の柔軟性もある。また、更新前のホームページは5年に1度のサーバーの機器更新費用が発生していたが、今後はその費用は発生せず、月額サーバー使用料費用のみとなり費用負担が少なくなる。		
委員	業者の選定はどのように行ったのか。		
説明員	近隣の市町だけでなく、隣県である秋田県内での自治体の状況も確認し、最終的にプロポーザル方式で業者を選定した。		
委員	インターネット上にサーバーがあることで、どこからでもアクセスできる点はよい。		
委員	更新時のセキュリティ対策はどうなっているのか。		
説明員	役場内のパソコン、もしくは認証された機器からのみ更新できる。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	情報ネットワークセキュリティ向上対策事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和7年7月9日(水) 13：25～13：35		
質疑応答 (発言者)	委員 パソコンに関して最低限何を習得してほしいか。 説明員 セキュリティポリシーを確認して欲しいが、ウイルス感染した際の対応は最低限理解しておいてもらいたい。 委員 ウイルス感染した時は反応が出るのか。 説明員 遊佐町の業務で使用しているほとんどのパソコンは、インターネットに直接繋がっておらず、東北六県全部共通のシステムを使用してメールを受信している。そのため、セキュリティ上外部の迷惑メールはブロックされるので、危険なメールが受信されることは少ない。		
委員			
説明員			
委員			
説明員			
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性 継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	基幹GIS推進事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和7年7月9日(水) 13：35～13：51		
質疑応答 (発言者)	委員 GISは誰もが使える状態ではなく、個人情報が入っているシステムのため、役場職員でなければ使えないと認識している。課により個人情報利用の権限などはあるのか。 説明員 町独自の個人情報は税金情報の権限設定がある。登記簿情報もあるが、法務局で公開している登記簿がベースになっているため、どの職員でも利用可能となっている。また、利用の際は、職員のみが利用できるネットワークで管理している。職員以外の方へ災害時に地図での案内が必要な際はQRコードを経由して情報を開示することができるようになっている。 委員 研修回数は2回だが、回数を増やした方が良いのでは。 説明員 今年度は委託料を増やして3回実施した。 委員 貢献度の評価が2となっているがなぜか。 説明員 災害時の評価を加味せずに提出したため、3に修正したい。		
外部評価の 意見	更なるGISの利用拡大を進めていただきたい。		方向性 改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	遊佐町デジタル人材育成促進事業		
担当課	総務課	担当係	ICT推進室
日時	令和7年7月9日(水) 13:51~14:11		
質疑応答 (発言者)	委員 情報処理関係の資格か。 説明員 それに近い。ただ、酒田光陵高校では在学中に取る人が少ない。大学入学共通テストや就職にも有利なので、この資格の活用の有効性を広めたい。 委員 高校の授業で取り扱っているのか。 説明員 3年前から高校で学習する内容になっている。 委員 対象者は。 説明員 町内に住所を有する、もしくは遊佐高校へ通学していることが条件ではあるが、大学生は本人が町内に住所がなくても被扶養者が町内に住んでいれば対象になる。 委員 補助金額の変動はあるのか。 説明員 国家資格の受験料が7,500円となっているため、現在はその額が上限となっている。 委員 事業の周知方法に力を入れてほしい。 説明員 学校へのポスター掲示は行っているが、幅広く周知していく必要があると思っている。		
外部評価の 意見			
	計画的に実施していただきたい。	方向性	
		継続	

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	国際交流事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 9時05分～9時20分		
質疑応答 (発言者)			
委員	派遣団員の選出方法を課題に挙げている理由はなぜか。		
説明員	近年、定員を上回る募集があり、公開抽選で全員の前でくじ引きをして決めるという方法をとっていた。しかしながら、くじ引きだと中高生のバランスが担保できない。高校生が仮に落選となった場合、今後の機会が限られるので、その点を考慮すべきか考えているところ。		
委員	目標値が14名だが、令和6年度は達していない。先程定員を上回る募集があるとのことだったが、落選者が多かったということか。		
説明員	令和6年度は中高生10名、大人4名の計14名。成果指標の数字が誤っているので修正する。		
委員	効率性を2としている理由はなぜか。		
説明員	予算削減という観点で、参加者負担金を増額し町の予算を減らせる余地があるとして2とした。		
委員	中高生がせっかく渡航するのだから、その経験を派遣後にどう活かすかという観点により注力してほしい。		
委員	この事業の成果をどのように捉えているか。		
説明員	派遣後の活動として、報告会を行っている。派遣生徒の進路を全て追っている訳ではないが、その後自主的に海外留学したとの話も聞くので、本事業が重要な機会になっていると捉えている。また、遊佐高校就学支援事業の1つとして海外留学の渡航費用を支援しており、ハンガリーの派遣事業へ参加したことをきっかけに短期留学に行ったという話もあり、本事業の意義を感じている。		
委員	短期的な視点でなく、長期的な視点で今後も頑張ってもらいたい。		
外部評価の 意見	派遣団員の選出方法や参加者負担金の見直しを進めていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	男女共同参画推進事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 9時20分～9時32分		
質疑応答 (発言者)	委員 19ある審議会で、目標値である40%に満たないものが13ある。各部署ではたらきかけていると思うが、感触や反応などはいかが。 説明員 推薦依頼を出すこともあるが、なり手不足の意見がある。地区の方で人材が不足しており、難しい状況であることは認識している。 委員 婦人部が無くなったことも登用率が伸びてこない要因としてあるのではないか。 説明員 充て職のポストもあるので、婦人部が無くなったことも一因として考えられる。 委員 委員の女性登用率が高いことは非常に良いことだと思う。		
外部評価の 意見	登用率の低い審議会等の改善に努めていただきたい。		方向性
			改善

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	きらきら遊佐マイタウン事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 9時32分～9時47分		
質疑応答 (発言者)	委員 集落への周知を課題として挙げているが、基本的な手段としては区長への周知か。 説明員 お見込みのとおり。 委員 事業の種類に「町長が認める事業」とあるが、どのような基準で判断しているのか。 説明員 補助金該当項目以外で補助する必要があるか判断する項目として設けている。審査においては、課長を構成員とした審査会にて行っている。 委員 当初予算額はどのように決めているか。 説明員 予算要求の前段階で、各区長に次年度申請予定の把握調査を行ったうえで、予算編成を行っている。 委員 集落公民館等整備事業補助金が通年受付とあるが、きらきら遊佐マイタウン事業とどのように差別化を図っているのか。 説明員 きらきら遊佐マイタウン事業はイベント等のソフト事業や、椅子等の備品購入事業に充てている。集落公民館等整備事業補助金は、公民館の新設・修繕に特化した制度として、令和7年度より通年受付している。 委員 令和7年度予算の内訳を教えてください。 説明員 きらきら遊佐マイタウン事業が150万円、集落公民館等整備事業補助金が350万円の計500万円となる。 委員 区長への周知方法は文書連絡かと思うが、区長連絡協議会等で直接周知を図る機会を設けていただきたい。 説明員 参考にさせていただく。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	まちづくりセンター運営事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 10時10分～10時28分		
質疑応答 (発言者)			
委員	成果指標設定の考え方として、過去5年平均に+5%としているが、根拠はどのようなところにあるか。		
説明員	コロナ前に設定した目標値になっている。実情として、コロナで落ち込んだ利用者数を回復するのが難しい状況となっている。		
委員	集落支援員の計画人員は何名か。		
説明員	今のところ各地区1名と考えているが、遊佐地区は人口規模が大きいので、2名配置もあるかもしれない。人件費は特別交付税措置の対象となる。		
委員	地域活動交付金はどのように決めているのか。		
説明員	人件費と事業費から算出している。		
委員	集落支援員の業務内容はどのような想定か。		
説明員	主に集落の点検を想定している。過疎化が進み、各集落でも現状把握が難しい状況にあるので、支援員がチェックシートに基づいて点検し、地区内外で共有する想定でいる。		
委員	集落支援員は地区内の方を委嘱する予定か。		
説明員	公募するので、地区内の方とは限らない。		
委員	各地区に専従となるのか。		
説明員	各地区専従となる。		
外部評価の 意見	継続的な支援に努めていただきたい。	方向性	
		継続	

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	広報発行事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 10時28分～10時45分		
質疑応答 (発言者)	委員 印刷製本費が減っているが、配布する世帯数が減ったことが要因か。 説明員 見積合わせの結果による減額であり、仕様や印刷部数に変更はない。 委員 お知らせ号を廃止にすることで、1日号のページ数は変わるか。 説明員 ページ数が増えることは考えられる。 委員 発行を月1回にすることで、どれほど事業費削減となるか。 説明員 今年の予算割合でいうと、総額900万円のうち、お知らせ号が200万円。1日号のページ増を含んだとしても事業費削減には繋がる。		
外部評価の 意見	着実に進めていただきたい。		方向性
			継続

令和7年度 行政評価外部評価ヒアリング 調書

事業名	事務事業評価システム推進事業		
担当課	企画課	担当係	企画係
日時	令和7年7月10日 10時45分～10時58分		
質疑応答 (発言者)			
委員	課題として施策評価へ移行とあるが、事務事業評価はなくなるのか。		
説明員	現状は個別の事務事業を評価いただいているが、今後は施策評価ということで、大元となる部分を評価いただくこととなる。		
委員	これまで同様に審査の作業は継続するのか。		
説明員	審査方法は変わるかもしれないが、審査自体は継続予定。		
委員	研修会はどのくらいの頻度で行っているのか。		
説明員	昨年度1回行い、齋藤先生に講師を務めていただいた。		
委員	委員を担っていただきたい気持ちもあるが、町としての考えはあるか。		
説明員	働いている方が大半なので、夜間開催や休日開催を考えると難しい。		
委員	昔と比べて行政評価自体がスリム化して非常に良くなった。職員の論理的思考も伸びてきているように感じる。		
外部評価の 意見	計画的に進めていただきたい。		方向性
			継続